



本校だよりは、今回、HP上のみでの公開となります。また、お子様向けには先生方が教室に掲示して下さっております(ー)

## 児童クラブの先生方 (子ども達をまつセンターの部屋) ↓

### いつもありがとうございます ございます!(^^)!



飯塚市の児童クラブ(学校隣接の児童センター)は全国的にも有名な教育機関です。なぜならば、設置者が、飯塚市役所飯塚市教育委員会学校教育課さんであり、NPO法人飯塚市青少年健全育成会連絡協議会(青少健)さんを運営者として子ども達の育成にご尽力いただいている市町村が全国的に見てもさきがけ的存在だったのです。毎年他市町村が機構改革のため他県などからの視察(大分県など)が絶えないと伺っています。つまり、学校の先生方と児童クラブの先生方の連携が密であることから飯塚市内の児童クラブは他の自治体の憧れの存在の機関となっているようです。これは、先代の教育長であられた森本精造教育長さんが、児童クラブの所管を平成28年に子育て支援課から飯塚市教育委員会学校教育課に移され、人間力や学力・体力を上げるために福岡教育大学教授・北カロライナ州立大学客員教授をはじめ九州共立大学・九州女子大学・九州女子短期大学副学長をつとめられた三浦清一郎教授(私も講演を依頼し講師送迎の際や、ご自宅にお話を伺いに何度か行ったことがあります。しかし、残念ながら昨年11月8日にご逝去されました。)と連携され、飯塚市として児童クラブに先進の学習システム(学校の宿題マスターをはじめとし、論語や各種暗唱、集団けん玉や連続縄跳びなどの体育的活動、3世代交流会、学習発表会など)を採り入れ改革をされました。歴代の教育長さんはこの改革を受け継がれ、推進され、担当部署の方々の日々の取組や実践によって成長を遂げています。ですので、飯塚市内の全児童クラブさんは活性化されていると感じます。さて、飯塚東小学校は、中心となる先生方(白土亜矢子先生、古池一三先生、小野香苗先生、原千重子先生、黒屋久美子教頭先生など)を核として飯塚市教育委員会の指導主事(今年度:花元指導主事様)の先生や行政(放課後児童係)の方、青少健の先生方と児童クラブの先生方との連携会議を毎月行って子どもさんの頑張りや気になることを交流しあっています。(もちろんですが飯塚市内の小学校は、全ての学校で毎月連携会議を行っています。)また、これは独自の取組ですが飯塚東小学校では職員が毎月数回分担して児童クラブのお子様の頑張りや応援したり、見学させてもらったりと訪問することも続けていきますし、いつも楽しみにしています。また、夏休み中や冬休みや春休みも、短い時間となりますが、勤務の休憩時間を利用して学校の先生方が児童クラブの皆さんの楽しく、仲良くルールを守って生き生きと過ごしている所を交代で見学したり、応援したりしにいけますのでその時はいつもの素敵な笑顔を見せてほしいなと思っております。

児童クラブの先生方、本年度も子ども達のためにどうぞよろしく願いいたします。

※取材に際しまして、お電話で大変失礼いたしました。青少健上野事務局長様、青少健事務局の口石先生、飯塚市教育委員会学校教育課 宮崎様から一部情報をご提供くださいましたことにお礼申し上げます。



(順不同で)

**中村 祐美子先生、木本 陽子先生、今井 郁子先生、石田 勝彦先生**

**中島 晶子先生、石本 夏美先生、瀬戸 珠々菜先生**

**先生方子ども達のためにいつもありがとうございます(一一)**

中村祐美子主任様は、「気持ちや行動にメリハリをつけられる子ども達になれるように、をモットーに日々お仕事をされている」と伺いました。私もメリハリをつけて万事にのぞみます・・・☺(#^~#)